



「人気のカシワバアジサイ」

あじさいの部 銀賞 八王子市 伊豫田 滋雄



寺の息子

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉田 純一

今年の十二月で六十九歳になり数えて古稀になりますが、寺に勤めて約四十五年が経ちます。小さい頃より高幡の境内、今の五重塔の山側にあった、ときわ保育園に父が高幡不動尊の僧侶であった関係で通っていました。住んでいた野猿街道の由木大塚にある最照寺から当時のコッペパンバスに乗り聖蹟桜ヶ丘まで行き、そこから緑の電車の京王線に乗り継ぎ高幡不動尊まで。その頃はまだ駅が現在の大政寿司のあたりだったと思います。小さいながらも周りの方に迷惑をかけ、助けられて一人で通っていた思い出があります。

その頃、高幡の末寺であった最照寺は小さな寺で檀家が四十軒位でしたが、境内に古木の桜、大きな山桜、檜の木があり少し高台にある為、西の方角に雄大な富士山が見えました。現在もビルや家が建ちましたが見る事が出来ます。今では寺の回りには住宅が建ち、裏には大きな道路が出来、古木の桜もなくなり昔の面影はありません。当時は前に豊かな田園風景が広がる村であり、この時期になると蛙の大合唱。暗くなるとホタルが飛び交い、又川で魚釣りをしたり、小川で遊んだり、秋になると田畑で野球をしたりと暗くなるまで遊んだ記憶があります。小学校の行き帰りには養蚕が盛んな関係で、桑畑がたくさんあり、桑の実を食べて空腹を満たし、口の回りを真赤にし先生や母によく叱られました。

若い頃より高幡不動尊には良く手伝いに行っていました。大学を卒業してしばらくして二十四歳の頃勤め始め、その頃は職員の僧侶が七、八人、他に四、五人の人が働いている寺院であり、非常にのんびりした感がありましたが、段々と大きくなり現在では五十人以上の職員が働いています。私が勤め始めた頃は境内でたくさんの子供が遊び、中には賽銭泥棒をする子も現われ追いかけて回してつかまえては長く説教をしたのですが、最近は殆んど境内で遊ぶ子供を見なくなりましたし、ましてや賽銭を盗む子はいなくなり、それは良いことです。何か寂しい様な感じがします。

半世紀も経つと社会状況が変わり、小さい頃より塾に通い携帯電話・テレビゲームと部屋の中で遊ぶ子供が多く、外で元気に遊ぶ子を殆んど見なくなりました。今や人生百年、百歳まで長生きする人が増え素晴らしい社会ですが、国の宝である子供達がもっと伸び伸びと育つ社会になって欲しいものです。

お不動さまの心——(二〇一)

現代の世相から (61) 廣 澤 隆 之

最近はいつに多種のスポーツが普及しているようです。若者がスポーツを楽しむのはもちろん、さまざまなスポーツを楽しむ老人も多くなったようです。私が子供のころに熱中したのが野球と相撲だったことを思うと、隔世の感があります。かつてのように少年たちが憧れるのはプロ野球選手に限らず、サッカーをはじめ多種多様なようです。

プロスポーツで優れた選手が登場するとマスコミはこぞってそのスポーツについて報じるようになります。最近では野球の大谷選手の大リーグでの活躍がテレビのどのニュース番組でも報じられています。私みたいへん興味深く大谷選手に注目しています。

大谷選手にアメリカの野球ファンも驚いているのは投手としても打者としても超一流の実力を発揮していることにあると思います。現在のプロ野球のように分業制が確立している世界では投打に活躍することは想定されていません。それなのに大谷選手はその常識を覆すような活

躍をしているのですから注目されるのも当然でしょう。しかも彼の素振りや発言を聞く限り、彼はプロ野球の最高峰のメジャーリーグに適応するためにたいへんな努力をしているだけでなく、野球少年の心のままにプロ野球の世界を生きているように思えます。投げることも打つことも、どちらも上手になりたい野球少年の夢を持ちつづけているようです。そのような大谷選手の活躍と言動が、野球とはいったい何なのかというむづかしい議論をアメリカの評論家の中で引き起こしているようです。

私はアメリカで生まれたスポーツには近代の産業社会の発展が色濃く反映していると思います。近代の工業社会では労働者が歯車の一つになる分業が確立しています。その労働が人間らしく生きることを阻害することを皮肉り批判したチャップリンの映画『モダンタイムス』が制作されたのは昭和十一年です。私はこの映画とアメリカのスポーツが重なって見えてきます。典型的なのがアメリカンフット

ボールです。少しずつ陣地を獲得する攻撃の方法はアメリカンインディアンと闘い西部開拓をする西部劇を思い浮かべますが、そこでは他のスポーツと違って大変多くの選手が動員されます。競技に参加する選手はサッカーと同じ十一人ですが、交代要員を含めると五十人、百人の規模でチームが構成されます。しかも攻撃と守備では一斉に選手が交代します。そして競技する選手は相手にぶつかることだけを専門とする選手もいます。ボールゲームなのに全然ボールに触れることを専門としな



阿彌陀如来像
画僧 牧 宥恵 師作

い選手もいます。攻撃陣に体当たりする屈強な選手が格闘技に転じることもしばしばあります。このような分業体制が徹底しているスポーツが近代のアメリカで誕生したことはとても興味深いことです。

野球はアメリカンフットボールほどではありませんが、やはり分業体制が基本にあります。投手と捕手は守備の間にひたすら労力を費やしますが、外野手はそれほどではありません。そ

して攻撃陣は打者と走者は相手と真剣に対決していますが、その他の選手はベンチに座っています。これほど労力の消費に偏りがあるスポーツは分業体制だからこそいえます。そしてそこにアメリカの産業社会のあり方が象徴的に表されています。

ところが少年たちが野球を楽しむのはこの分業体制を身につけるためではなく、単純に投げ打ち走るといった人間の基本的な運動を行うことにあると思

います。まさしく大谷選手の活躍は、このような基本的な運動を顧みて、分業体制が徹底した現代の野球のあり方が問われているのだと思います。

実は、このような問題は現代の人間の生き方の根本を問うことにつながります。私たちは文明を発展させるにしたがい肉体労働と頭脳労働を分化させるようになりました。そしてきつい肉体労働を軽くするためにさまざまな道具や機械や頭脳を使っ

て発明し続けてきました。そして経済発展にともない消費活動が盛んになればなるほど、人間は肉体と頭脳の全体の活動の一部分の働きのみを特化させるような労働をするようになりました。

そしてこのような文明の将来は人工知能によってさらに劇的に変化することが予想されています。人工知能は多くの労働において人間の頭脳よりも的確に有効な働きをすることは明らかです。もはや人間は肉体と頭脳の働きの多くを失ってしまっているように思います。そして他方では健康ブームで自分の肉体には過剰な関心が寄せられています。

仏教では身体と言語と精神の活動を徹底的に見つめることが教えられます。真言宗ではそれらの活動はすべて仏さまの活動と結びついているので、すべてが求められます。現代の文明の中で仏さまを受けとめることこそ、これからの生活のためにも求められることでしょう。全宇宙の全体を生命とする仏さまこそ私たちの生きる根源です……

● 廣澤隆之先生のプロフィール

● 大正大学名誉教授

● 浄福寺住職

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。
(敬称をすべて省略させていただきます)

一、品名 「不動堂外陣幕」
「不動堂向拝幕」

奉納者 府中市

府中日護摩講



境内整備緑化資金

寄進者芳名

(平成三十年二月一日～三十年四月三十日)

三鷹市 (南)メディカルシステム代表取締役

高瀬和博

一、品名 仏像「地藏菩薩立像」木彫

奉納者 日野市

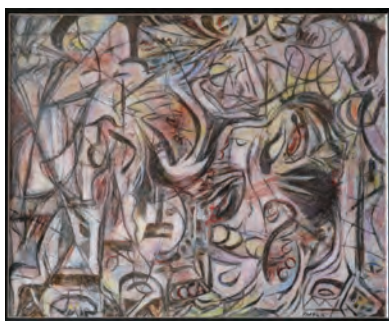
清水悟朗



一、品名 油絵「万象」一〇〇号

奉納者 自由美術協会会員

あべ 黎子



(株)エムスイーエス代表取締役

高瀬和博

府中市 青木裕吉

彦根市 西澤政男

(三回)

千体地藏尊

奉安者芳名

(平成三十年二月一日～三十年四月三十日)

朝霞市 瀬尾緑

多摩市 (南)浅野葬儀社代表取締役社長

浅野泰宏

八王子市 伊藤鎮子

八王子市 伊藤有希子

日野市 和田典久

幟旗奉納者芳名

(平成三十年二月一日～三十年四月三十日)

船橋市 野村隆司

千代田区 吉川美謙

新宿区 戸谷仁美

二 調布市 柴田芳子

二 調布市 柴田昌輝

昭島市 葉袋忠一

昭島市 葉袋洋仁

昭島市 大野重治

青梅市 谷川雄

二 日野市 岡村武夫

日野市 木村茂代

八王子市 諏訪村

相模原市 水希世

相模原市 秋山直子

山主の主な動静

3/2 観光協会研修旅行(水上)・

3/3 総代世話人会・3/15 小峰化主

親下夕食会(京プラ多摩)・3/16

祐勝和上本葬儀・3/17 祐勝和上

納骨開眼式・3/19 川崎大師御礼

・3/20 高尾山御礼・3/21 彼岸会法

要・浄福寺焼香・3/22 京王本社

御礼・3/23 新選組まつり実行委

・声明とジャズの夕べ(市民

会館)・3/26 成田山御礼・3/30 洞

光寺(山形村山教区)参拝団

・4/2 遍照講新年会・4/3 観光協

会貫主晋山祝賀会(立川)・4/8

花まつり法要・4/9 宝蔵院・東

覚寺御礼・4/10 大覚寺・随心院

御礼・4/11 本山・大須観音御礼

・日野七福神会総会(玉川)・

4/12 法弘会総会(浅草)・4/17 貫主

就任を祝う会(車屋)・4/20 マハ

ヤナ協会総会・4/25 遍照講成田

山大会・4/26 埼玉第七教区参拝

団・4/27 4/30 春季大祭国宝まつ

り・5/9 密蔵院(下総香取教区)

参拝団・5/12 5/13 ひの新選組ま

つり・5/14 瀧泉寺(北海道教区)

参拝団・5/18 大僧正親授式(本

山)・5/20 勝五郎記念碑除幕式

・5/21 観光協会理事会・5/25 広澤

隆之先生出版祝賀会(赤坂)

・5/28 五月大祭・5/31 日野仏総会



新選組まつり～着物クイーンコンテスト出場者の皆さん 5/13

高幡不動尊 フォトニュース



テンボ良く～柳家三三師匠落語会 4/28



千体地藏尊をお加持する杉田貫主 4/29



不動堂前から練り出す神輿 4/29



家族揃って～花まつり 4/8



木遣りでお練り～江戸消防記念会の皆さん 4/27



心静かに～大経会 4/27



天候にも恵まれて～稚児練り 4/28



スカイツリーは見えましたか？～五重塔五層 4/28



馬上の土方歳三～新選組まつり 5/13



歳三忌～小島政孝氏の講演 5/12



大般若転読会 4/30

當山第三十三世貫主

大僧正 川澄祐勝 和上本葬儀

三月十六日、大日堂に於て當山第三十三世川澄祐勝貫主の本葬儀が、真言宗智山派管長小峰一允猊下大導師のもと勤修致されました。

当日は新義真言宗管長中村元信猊下、大本山隨心院龜谷英央執事長様、真言宗智山派芙蓉良英宗務総長様、大本山成田山橋本照稔御貫首様、大本山川崎大師藤田隆乘御貫首様、大本山高尾山菅谷秀文執事長様、別格本山大須観音岡部快圓御貫主様をはじめ宗派内外御寺院様、檀信徒合わせ二千名を超える皆様にご参列・ご焼香をいただきました。



大日堂に進まれる大導師



本葬儀をお勤めいただきました真言宗智山派管長・総本山智積院化主 第七十一世大僧正小峰一允猊下の嘆徳文をご披露いたします。

別格本山高幡山金剛寺第三十三世

大僧正川澄祐勝和尚本葬儀嘆徳

敬つて真言教主大日如来 両部界会諸尊聖衆 殊には宗祖弘法大師 中興興教大師 総じては仏眼所照一切三寶の境界に白して言さく

宗祖弘法大師は「亡弟子智泉が為の達嘸の文」に曰く「法性の大空はすべての因縁を離れて不生不滅にして不動転なり 然るに迷いに執われた世界は波のごとく諸々の因縁によって起る したがって十二の因縁はこの迷いによって起り この迷いの世界を真実のものと錯覚させる」と

茲に高幡山第三十三世 総本山智積院集議席大僧正川澄祐勝和尚は 近年病を得て数年に亘り 山主として勤めを果しつつ現代医療の粋を尽して再起をめざし 近親また篤き看護をもつて応え 更には有縁の人々の快復の願いも叶わず ここに化縁尽きて寂を示す 嗚呼哀しい哉 口惜しき哉 未だ期すべきこと 多かりしに

顧みれば大和尚昭和六年一月一日埼玉県荒野町に生を受く 幼少より俊才の誉れ高く 法政大学を卒業するや直ちに宿縁ありて高幡山秋山祐雅大和尚の室に入り昭和三十二年得度す 翌三十三年には四度加行を勤修して昭和三十五年総本山智積院道場に於いて入壇灌頂を履修して本宗教師となる。以後も厳格なる師の下に刻苦勉励 菩提心の涵養につとめられしことは自著「叱られる幸せ」にあるごとくなり その功ありて師の信頼を一身に受け 高幡山金剛寺総務部長 執事 執事長と累進し 祐雅大和尚を扶け高幡山の興隆にその全精力を傾注され 一山興隆の陰の力となりその礎を築かれる 平成元年十一月祐雅大和尚遷化をうけて 推されてその跡を継いで第三十三世の法灯を継承さる

晋住するや以前にも増して精励煥勤 丈六不動三尊の修復 身代わり不動三尊の造顕 宝輪閣 奥殿の建立等々一山の輪奐ここにその美を備えたるは真に大和尚の卒先垂範の誘掖による山内職員力の結集によるところにして



土方総代
(葬儀委員長謝辞)



春耕俳句会
棚山主宰 (弔辞)



京王電鉄(株)
永田会長 (弔辞)



真言宗智山派
芙蓉宗務総長 (弔辞)



法類会・総代世話人による納骨法要



杉田貢主 (法嗣謝辞)

大和尚の仁徳の然らしむるところというべきなり

宗門にありては別格本山貢主としてのみならず 真言宗智山派・総本山智積院並びに別院真福寺責任役員として或は菩提院結衆・集議席としてその信望を集め また宗機顧問の重職にありて管長の諮問に応じ 総本山並びに智山派の興隆発展につとめらる また平成二十年二十一年と二度にわたりわが真言宗屈指の大法たる後七日御修法に供僧として出仕され 神供 咒頭の役を如法に務めらる 出ては東京都仏教連合会会長の要職を務めて都仏を掌理され 或いは保護司として社会奉仕に尽瘁 又日野ロータリークラブ名誉会員をはじめ数多くの役職をもつて地域社会に貢献さる

大和尚時に俳句をよくし多くの名句を集めて句集を刊行すること数篇又師との思い出を語る自伝的文集「叱られる幸せ」は版を重ねらる

かくして宗門より護持功労章 総本山功労章 宗治功労章 密教教化賞護法功労章等々の表彰をうけるも宜なるかな

小納今ここにありし日を偲ぶに和顔愛語とともに 日々奴僕三昧との言葉を想起す 大和尚の恩徳は広く四圍に及び当山檀信徒は申すに及ばず多くの人々に裨益し安心を与えられしこと疑いなし

「贈法印大和尚位」の文に曰く「智慧の峰高く 菩提の月朗かなり 三密の法印を持して 四輩の儀形たり」と 贈りて遷を悼む

願わくは大和尚法界空殿に遊歩せられ 阿字本不生三昧に住し 永えに令法久住 寺門興隆 宗門繁栄 更には一切衆生に慈眼を垂れ給わんことを

南無大日大聖不動明王

乃至法界 平等利益

平成三十年三月十六日

真言宗智山派管長
総本山智積院化主第七十一世

大僧正 一 允 敬白

夏の行事案内 (六月～八月)

◇六月

○1日(金) 7月7日(土) 高幡不動尊あじさいまつり

○10日(日) フリーマーケット

○15日(金) 青葉まつり (弘法大師・興教大師ご生誕慶祝法要
於大日堂 午後一時より

法話 講師 大藏院 住職 有松 孝真先生

演題『生きる力 ―仏さまに祈り―

仏さまと出会う―

聴講無料

○15日(金) お焚き上げ (午前九時)

○16日(土)・17日(日) 高幡写仏会 講師 牧 有恵先生
(下段参照)

○17日(日) ござれ市 (がらくた市) (雨天決行)

○21日(木) 月例写経会 (午後一時三十分) 法話 山内僧侶

○24日(日) 千体地藏尊月例法要 (午後二時) 法話 山内僧侶

○28日(木) 月例祭 (ご縁日) 法話 山内僧侶

◇七月

○8日(日) フリーマーケット

○15日(日) 孟蘭盆会法要 (午前六時) 於 大日堂

○15日(日) ござれ市 (がらくた市) (雨天決行)

○21日(土) 月例写経会 (午後一時三十分) 法話 山内僧侶

○24日(火) 千体地藏尊月例法要 (午後二時) 法話 山内僧侶

○28日(土) 月例祭 (ご縁日) 法話 山内僧侶

◇八月

○4日(土) 俳句大会表彰式及び記念大会

○5日(日) 短歌大会表彰式

○15日(水) 孟蘭盆会大施餓鬼法要 (午後一時)

法話 講師 正覚寺 副住職

寺内 照俊先生

演題「お参りのしかたあれこれ」 聴講無料

○19日(日) ござれ市 (がらくた市) (雨天決行)

○21日(火) 月例写経会 (午後一時三十分) 法話 山内僧侶

○24日(金) 千体地藏尊月例法要 (午後二時) 法話 山内僧侶

○28日(火) 月例祭 (ご縁日) 法話 山内僧侶

高幡写仏会のお知らせ

自分の手で仏様のお姿を写経のように写して、その後、御本尊不動明王に奉納する写仏会です。

当山では年二回 (あじさいまつり・もみじまつりの会期中) 写仏布教の第一人者、画僧牧有恵師を招いて開催しています。写仏前の御法話も人気があります。是非この機会に御参加いただき、お不動様との法縁と写仏を自身の浄行とされ御本尊不動明王の御加護をお授り下さい。

記

日 時 六月十六日(土)・十七日(日)

午後一時～午後四時(受付 正午より)

会 場 宝輪閣地階ホール (両日共、牧有恵師の作品を展示します)

内 容 午後一時 法話

午後二時 写仏

午後四時 写仏奉納大護摩修行

会 費 式千円 (材料費含む)

◇お申込み・高幡不動尊事務局まで 電話 〇四二五九一〇〇三三



「あじさいに囲まれて」
あじさいの部 銅賞
調布市 新井 利彦

山内八十八ヶ所

巡りクイズ

多摩丘陵の一角を占める高幡不動尊、三万坪余りの境内は千古の緑に包まれ四季折々の花木を楽しむことができます。裏山には明治四十二年開設の山内八十八ヶ所の弘法大師像がまつられており森林浴を兼ねてのお参りは約一時間。あじさいまつり期間中巡拝路沿いに十問のクイズが出され、毎年多勢の方がクイズを楽しみながら参拝されます。

解答用紙は、不動堂前、五重塔無料休憩所、五重塔外階段下、大日堂、大師堂、交通安全祈願受付所、山内八十八ヶ所一番札所に置いてあります。解答は事務局か宝輪閣受付へお持ち下さい。

尚、正解者の中から抽選で一五〇名の方に賞品を差し上げます。



お大師さまがお待ちしています。

あじさいまつり諸行事案内

(六月一日～七月七日)

- 山内八十八ヶ所巡りクイズの会……………(毎日)
- 奥殿特別寺宝展及び鳴り龍拝観……………(毎日)
- 茶庭拝観……………(毎日)
- 五重塔無料休憩所開設(百五十名収容)(午前九時～午後四時)……(毎日)
- 薄茶接待……………六月二十二日までの水曜・木曜・金曜、及び六月二十八日
六月九日～二十四日の土曜・日曜 午前十一時～午後四時
- 日本拳法奉納大会……………六月 十日(日)
- リサイクル・フリーマーケット(雨天中止)……………六月 十日(日)
- 青葉まつり(両祖大師ご生誕慶祝法要)……………六月 十五日(金)
- 少年柔剣道奉納大会……………六月 十七日(日)
- ござれ市(がらくた市)……………六月 十七日(日)
- 高幡写仏会……………六月十六日(土)・十七日(日)
- 月例写経会(山内僧侶法話午後一時三十分より)……………六月二十一日(木)
- 千体地藏尊月例法要……………六月二十四日(日)
- 空手奉納大会……………六月二十四日(日)
- 縁日……………六月二十八日(木)

あじさいまつり写真コンクール作品募集

テーマ①あじさいの部……平成三十年のあじさいまつり期間中の高幡不動尊

及び門前町の行事・風物や、あじさい等の作品
②四季の部……………平成二十九年七月以降の高幡不動尊及び門前町の

四季の風物、行事等の作品

サイズ カラープリント「六ツ切以上四ツ切迄・縁ナシ・ワイド可」

締 切 平成三十年七月七日(土) 必着

応募規定①期間中に撮影の自作品(未発表のもの)

②作品ごとに応募票を貼付 ③資格は高校生以上

④作品に関する肖像権は応募者本人の責任となります。

尚、応募作品は原則として返却致しません。

入選発表及び表彰式は八月二十五日(土) 高幡不動尊客殿洋間

あじさいまつり俳句・短歌大会作品募集

兼題 高幡不動尊境内及び門前町の四季囀り作品(未発表作品に限る)

応募 一組 二句又は二首(一人何組でも可)

用紙 規定の用紙又は二〇〇字詰め原稿用紙(B5版)使用のこと。

入花料 投稿時納入 俳句・短歌とも一組一〇〇〇円

(但し記念大会参加料を含む)

投稿先 日野市高幡七三三 高幡不動尊あじさいまつり事務局宛

(〒一九一〇〇三二)

締切 平成三十年七月七日(土) まで(当日必着)

選者(肩書等略・五十音順)

俳句 大久保白村・大竹多可志・鍵和田柚子・柏田浪雅・才野 洋

笹木 弘・鈴木貞雄・鈴木節子・高橋悦男・棚山波朗

橋爪鶴磨・星野高士・矢島艶子・山崎千枝子の諸先生

短歌 大河原惇行・狩野一男・長澤ちづ・松坂 弘の諸先生

掲出 入選作は九月末まで宝輪閣又は五重塔々院に掲出する。

表彰式及び記念大会

俳句 八月四日(土) 正午開会 当季雑詠二句

記念講演 講師 俳人協会理事 小島 健 先生

短歌 八月五日(日) 一時開会 演題 『人生に効く、俳句』

表彰式及び講評



昨年の俳句大会講演



井 内 絢



益城花八重

春季大祭国宝まつりに参加して

大写真会 (427)

八王子市 佐田 恵吉
般若心経の写経を始めてから十三年半の昨年十二月に三千巻に達しました。その間、三回の大病をしましたが、仏様の御加護により健康を回復しました。本日、無心でこの大写真会にて納経し改めて仏様に感謝致しました。お不動様にはとても親しみを持っておりま

小金井市 石毛 恭子
九十歳になりましたが、今年も参加出来ました事は仏様のご加護と感謝のみです。ありがとうございます。

西東京市 保谷 晶子
墨をするところから始まるスタイルが好きです。ゆったりとした気持ちで集中して写経することができました。お食事もういつも楽しみにしています。

東村山市 三橋 美香
ずっと写経をしたいと思いつつ、なかなか実行に移せずにいました。そんな時に母の元に届いた今回の写真会の案内を目にし、これだ!!と思いきり申し込みました。願っていた縁があるものだ嬉しく

思いました。良い縁・機会がありました。ありがとうございます。初めての写経は集中しつつも窓から入ってくる風が気持ち良くとても落ちついた気になれました。自分の気持ちが穏やかだと周りの雑音にもイライラせず、おらかな気になれました。今後も続けたいと思います。

真言宗智山派教化部長

笹沼弘憲先生法話 (427)

八王子市 宮島 智世
とても柔らかいお話し方でわかり易く、素直に心にストンと入ってくるお話の数々でした。帰宅して家族にも話して聞かせます。たくさんの方々にこのお話が届くと思います。



「真言宗における生きる力」 笹沼 弘憲 先生

日野市 古屋 英行
スライドでの法話は初めて聞きましたが、文字・絵・言葉に大変心を打たれました。今日はたまたま高幡不動尊に来ましたが、素晴らしい法話が聞け、お大師様の教えが少しでもわかるようにしていきたいと思っています。

今回の法話で、傲りと怠けを戒めて努力を讃えるウサギとカメの話について、のろくても堅実に努力してゴールに着いたカメの中にあるエゴに目を向け、カメはウサギを起こして「一緒にゴールへ行こう」と言うべきだったとも解釈できるという話を聞いて、なるほど!と思いました。自分の利も他人の利もどっちも大事だからこそ、ちょっと声をかけてあげる、余裕があったら手を引いてあげるだけで「自分だけ」じゃなく、自分も他人もみんながハッピーになれるっていうのは良い欲望を生きている最中に生かす!!「生きる力」になるんだなあと。それが自分の中にある仏性なのだ妙に納得できた次第です。

稚児行列 (428)

日野市 山本 詩
前回に続いて今回二度目で



紙切りの林家二楽師匠

す。お友達を誘っての参加、また良い思い出になりました。「娘を宜しくお願いします」と間近で不動様にお願ひ出来ました。

日野市 松尾 法世

新緑の美しい境内、お天気にも恵まれて、七年前の長男に続き長女と次男が今回お世話になりました。私自身も幼い頃、不動さまの稚児行列に参列したことがずっと心に残っております。我が子たち三人も今日の日のことを胸に今後もお不動さまの見守りのもと健やかに成長してくれたらと思います。

日野市 中村 徹平

今回初めて六歳の息子が参加しました。お化粧も衣装も可愛く、本人もお化粧の段階で気持ちが入ってました。こ

の様な行事に参加できて記念にもなり良かったです。

柳家三三師匠落語会
林家二楽師匠紙切り (428)

相模原市 大日向 均
年に一度、五重塔に登れる日という事で参拝に来ました。丁度奉納演芸が始まる時間でしたので観覧させていただきました。楽しい時間を過ごすごうございました。

八王子市 山本 洋子

林家二楽さんの紙切りはともに見事でした。柳家三三さんの落語は実に面白く時間を堪能しました。次回も落語を宜しく願ひ致します。楽しみにしております。

日野市 田中 晶

近くに住んでいるので事ある毎に寄らせていただいております。今日は五重塔からの風景と演芸を楽しませていただき有難うございました。これから紫陽花も咲き、日々の風景を楽しませていただきます。今後是非、楽しい落語会をお願いします。

五重塔仏伝彫刻拝観 (428)

府中市 島崎 栄子
念願が叶い五重塔へ上がる事ができました。らせん階段はきついですね。でもお天気に恵まれ、眺めは抜群。来



峰岸純夫先生記念講演

年は主人も連れて来たいと思います。

武蔵野市 前田 輝世

一月まで日野に住んでいました。二十年近く住んでいましたが、初めて五重塔へ登らせていただきました。外の景色はもちろん、階段の彫刻が凝っていて感動しました。また参拝させていただきます。

東村山市 田崎佐知子

何回もお不動様に来ていますが、五重塔は初めてです。仏様の胎内を歩いている気分でした。眺望がすばらしく、新緑もとってもきれいでした。

須崎 昭子

八十四歳の誕生日に念願かなって一人で最上階まで行きました。今年はすばらしい年になりそうです。

千体地藏尊総回向法要 (4/29)

日野市 斉藤 昭

千体地藏尊様の第一回目の奉安(昭和六十二年)から続けて参加しております。八十歳を過ぎても元気で参り出来るのもお不動様のおかげです。ありがとうございます。

八王子市 海老澤信一

連休の中、先祖や自分自身と向き合う貴重な時を過ごすことができました。杉田貫主様の「健康が一番。当たり前の日常を普通に過ごせることのありがたさと大切さ」をお話しされた法話も大変心に残りました。山内の新緑と花々も美しく、良い春の一日となりました。

東京都立大学名誉教授

峰岸純夫先生講演 (4/29)

日野市 酒井菜穂子

歴史の授業と異なり、楽しくわかり易かったです。先生のお人柄がなごやかで、ユーモアがあり、お話もすんなり頭に入りました。年一回と言わず、もっと回数を増やして頂けると有難いです。

日野市 佐藤 通子

教科書には載っていないお話を教わり、歴史がとても身近に感じられて良かったです。また色々教えていただけた機会があると嬉しいです。



千体地藏法話 杉田貫主

日野市 大石 晃士

「東の享徳の乱、西の応仁の乱」楽しく拝聴しました。日本の歴史の中で中世は大変おもしろい。いつの世も覇権争いですね。

日野市 高橋 理

峰岸先生の話は大変おもしろい。日野や多摩地区にも関係のある話で、有意義な時間を過ごせました。ありがとうございます。

奉納神輿練り (4/29)

日野市 八嶋 泰子

初めて参加しましたが、とても活気のあるお祭りで大々も楽しめました。近所に住んでいるのに御神輿パレードのことをしなかったです!!

子供みこし 原田しづか

今年は子供達がけっこう集まり「わっしょい!」の掛け

声を最後まで大きな声でがんばったと思います。子供会以外の子供たちも参加してくれて嬉しく思います。

子供みこし 中村 雅子

子供会の子ども神輿に参加させて頂きました。天候が良く、気持ちよく臨むことができました。高学年の子が少なく、子供神輿が例年より重く感じられましたが、心地良い疲労感です。

子供みこし 村田 学

高幡不動に引越して来て二年目となり、子ども会を通して参加させていただきました。お不動様の歴史と伝統を子どもに体験させてもらいました。生活の中に息づく文化に触れることで、子供の心と身が育てばと願っております。

「充実の人生」

榎木孝明先生講演 (4/30)

多摩市 小玉 正明

榎木さんはテレビで絵が上手いなと思っていましたが、美術大学卒業との事で成程と思いました。私も現在七十四歳、これからの残りの人生を充実して生きて行こうと思います。

日野市 石見 広敏

想像していたより若く、絵を書くだけだと思っていたが違っていた。文武両道で素晴

らしい人だ。私は来月七十歳だがこれからの人生「人に尽くす」事を心掛けたいと思う。本当に良い講演でした。

日野市 安藤 恵子

穏やかな性格の通り静かに落ち着いたお話でした。改めて日本人そして時代劇等、原点をみつめ直す気持ちになりました。

武術も未長く続けて頂きたいと思いました。

あきる野市 安藤さとみ

思い悩み訪れた高幡不動尊、そこで榎木さんのお話を聞くことができたのが洗われたような内容のとても良いお話でした。

貴重なお話ずっと忘れないように心に留めておきます。ありがとうございました。



「充実の人生」榎木 孝明 先生

ひの新選組まつり

土方歳三の命日（五月十一日）にちなみ開催されるひの新選組まつりは、今年二十一回目を迎え、五月十二・十三日の両日盛大にとり行われました。

十二日は新選組隊士総回向法要、隊士コンテストが五重塔塔院大ホールにて行われ、十三日は大日堂前で出陣式、参道にてパフォーマンスの後、旧甲州街道での大パレードが行われました。

久喜市 岡安綾希子

昨年はミスター土方として土方さんと対面し、今年は近



いざ出陣！（大日堂）



参道でのパレード



たかはた北保育園のパフォーマンス



総回向法要（塔院大ホール）

藤勇として来ました。

昨年はお名前をお借りしますと伝えて、かつこ良い土方になる決意をしました。今年は友の気持ちで見守ってくれよ!!と伝えました。役をいただいてからのお墓参りは特別な気持ちになります。より近くなった気がして頑張れそうです。今年も一生懸命あおります。見に来てくれた方がたーくさん笑って声を出して楽しかったと言えるまつりにしたいです。

杉並区 安田 友亮

中学時代から土方歳三に憧れを抱き、その頃から高幡不動尊は訪れていました。

ひの新選組まつりのコンテストで役割を与えられて訪れる高幡不動尊は、土方歳三像から何かプレッシャーを感じ、一方、生きる時代は違いますが、少し土方歳三に近づけた気がします。そんなひの新選組まつりが今後何十年何百年と続きますように！

稲城市 三ツ木民男

気高くも護国の志士は忍びぬき耐る心は鋼の如し

◎あじさい御守授与（二体 各五〇〇円）

あじさいまつり期間限定にて色とりどりのあじさい御守を授与しております。

紫陽花
不動香焚売

一箱二〇〇〇円
（六・七月限定）



山内消息

聲明とジャズのゆうべ (3/23)

去る三月二十三日、日野市民会館（ひの煉瓦ホール）において「聲明とジャズのゆうべ」が開催され、当山職員も参加しました。

この催しは、日野市民会館を管理・運営する㈱日野市企業公社により「忘れない、和、明日」への祈りをテーマに、東日本大震災復興支援チャリティライブとして企画されたものです。声明を当山僧侶及び東京多摩教区智山青年会々員有志十六名が、ジャズパートをSuper Reed Bandがそれぞれ担当しました。



Super Red Band 海江田 紅さん

日野市民会館の一〇〇〇席

を越す大ホールでの声明、お彼岸中ということもあり皆揃つての稽古が難しかった事、声明にジャズが合わせるといふ初めての試みに、我々僧侶にとつて戸惑う事の多い公演でしたが貴重な経験をさせて頂くことができました。

会場にお越し頂いた八五〇名以上の方々、バンドのメンバー、僧侶の一丸となった祈り・思いが大震災で災難に遭われた方を少しでも慰め、また復興の一助となることを切に願います。

（直井記）

花まつり
(4/8)

福寺支部の連合にて参加した

24名が参加、初舞台の方もホッと一息

福寺支部の連合にて参加いたしました。

まず初めに開会式では、「東日本大震災物故者追悼詠歌」が一斉奉詠され、追悼の詠歌が捧げられました。

午前の部の奉詠が終了し、午後の式典では、総本山智積院化主小峰一允猊下のご垂示を頂き、午後の部の奉詠が始まりました。高幡山・西蓮寺・東福寺支部の皆さまは、「相互合掌和讃」を奉詠し、日頃のお稽古の成果を十分に発揮

していたきました。

約一〇〇〇人の全国講員による詠歌が奉詠され、成田山一〇八〇年記念大開帳に華を添える奉詠大会になりました。

(手塚記)

大正経会
記念法話
(4/27)

四月二十七日、春季大祭国宝まつりの一環として大寫経会が開催されました。お写経後、不動堂にて大護摩修行、写経奉納式が執り行われ、続いて五重塔での記念法話がありました。今年は、京都の総本山智積院より教化部長 笹沼弘憲先生をお迎えし「真言宗における生きる力」と題して法話を頂きました。

自らの法話を「法話バイキ

ング」と紹介し、「お好きなものを お好きなだけ お好きなように」話を進められました。今回は写経会に因み、「西遊記」のお話から入り「サギとカメ」の昔話などを例えに出され、パソコンとプロジェクターを用い視覚的にも楽しめる工夫が随所に凝らされておりました。「総本山智積院へ是非参拝を」と話を締めくくると、大きな拍手が会場に響きました。

(直井記)

職員研修旅行
(5/7・5/8)
(5/9・5/10)

立夏を過ぎましたが、生憎の雨と気温が数ヶ月戻ったかのような肌寒さの中、仙台・山形への研修旅行が一泊二日の行程で実施されました。

初日、二年前に檀信徒の皆

様からご奉安いただいた二万
体地藏尊の北釜観音寺を訪問
し、東日本大震災犠牲者の追
善供養法要を勤修しました。
その後、観音寺総代の鈴木英
二様からプロジェクト映像
を交えながら被災時の状況と
復興の現状をご説明いただき
ました。

総代様は「津波対策として海岸林の再生に取り組んでおり、個人の力から、今では集団の力となつてプロジェクトは大きく進んでいるが、国からの復興予算はあと三年、復興が進まない所も多くある」とのお話をいただき、改めて風化させる事なく支援を続けていこうと思いました。

その後、一行は松島瑞巖寺・天童へと進みました。

〔丸山幸記〕



北釜観音寺 御住職・総代様と

高幡いきもの曼荼羅 ③

ここ数年来、紫陽花が盛りになると、葉の上にひっそりとゲンジボタルの姿が見られるようになりました。餌になるカワニナ放流の成果もあり、境内にホタルが乱舞するのもそんなに先のことでないかも知れません。

ただ、温暖化の影響か、以前は確認されなかった南方系の昆虫たちもよく目にします。真夏にはクマゼミの声が聞こえますし、アカボシゴマダラや南方系のイシガケチョウも生息しています。また植物の植生も変化しつつあります。

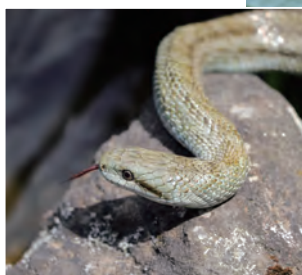
心配されるのは生態系です。自然は様々な生命の営みによってかろうじてバランスを保っているのです、あたかも繁栄しているかのように見えても、その本質が偏ってしまわないように日々自然環境を観察することもある必要なのでしょう。

そんな豊かな高幡不動尊の自然を象徴するのがアオダイショウです。一見して大きいので驚かれる方もいらっしゃると思いますが、極めておとなしいヘビですので境内で見かけてもどうかご安心ください。

青大将さても大きく泳ぎゐる 祐勝



ゲンジボタル

アオダイショウ
弁天池にて

アカボシゴマダラ

なにげなくつかっている仏教のことば——三界（さんがい）

三界とは、欲界（欲望の世）・色界（欲は除かれたが、肉体をなお存している世界）・無色界（肉体の束縛を離れた精神のみの世界）のことで、いずれも迷いと苦しみに満ち

ており、私たち衆生はこの三界を繰り返し輪廻転生していると考えられています。

仏教では、この三界から解脱することが目的のひとつとされており、それ故、三界は

安住すべき所ではないことを

「三界に家なし」といいます。これが後に、「女三界に

家なし」として、女性の不安定な地位を表す諺（ことわざ）となりました。

（小林靖典）

お不動さま教えて？

お不動さま教えて？

ご質問 お寺にお参りにうかがうと、その入り口には必ずといっていいほどお地藏さまが六体祀られています。お地藏さまは一体でいいのではありませんでしょうか。なぜお地藏さまは六体なのでしょう

ようか？ それにはどのような意味があるのでしょうか。どうかお不動さま教えてください。

お答え はい、お答えします。

たしかにお寺や墓地の入り口、また村落の入り口にも、六体のお地藏さまがよく祀られています。この六体のお地藏さまは、それぞれ地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道・人道・天道の六道に遊行して、輪廻する衆生を教化し、あらゆる苦しみから済（すく）すとされているのです。

そのいわれは、『地藏菩薩本願經』というお経に、つぎ

のようながことが説かれていることによります。

あるとき、お釈迦さまが菩薩や天、そして多くの人が集まった前で、地藏菩薩の慈悲と智慧がきわめてすぐれていることを褒め称えて、次のように命じました。

「地藏菩薩よ、この六道に輪廻しているすべての衆生が、一日一夜たりとも、地獄道、

餓鬼道、畜生道に堕ちて苦しみを受けないようにしなさい」と。

六 地 蔵

これに答えて地蔵菩薩は、「仏の教えに對し、一瞬たりでも敬い信じたならば、その者をあらゆる手立てを尽くし、必ずさとりへと済（すく）ます」との誓いを立てられました。

これにより、地蔵菩薩は《六道能化》、すなわち地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天の六道に赴き、輪廻する衆生を済（すく）導く菩薩であるとの信仰が生まれ、六体のお地藏さまが祀られるようになったのです。



皆様からのお便り

春季大祭国宝まつり

落語会

柳家 三三

本当に楽しみに来て下さったんだなあとお座で喋りながら感じました。皆さんの笑い声で拍手でゼーんぶわかります！

林家 二楽
あたたかいお客様方で、楽しく、うれしく、気持ちよく紙を切ることができました。ありがとうございました。ありがとございました。



日野市 野中 克代

稚児行列に主人と共に参加しました。孫は貫主様のお綱を引かせていただく大役でしたが、緊張しながらも立派につとめることができました。私達夫婦も今年で金婚式を迎え、三人の娘と五人の孫に恵まれ、幸せな日々を過します。これもお不動様の御加

護、ご先祖様のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。

国分寺市 久世 重徳

先日は年男五十年の記念品を頂き有難うございました。突然僧侶の方が自宅まで届けて頂き、驚きと感動で一杯でした。其の後、今までの年月

と一緒に無事一年を過せる様にとお祈りしながら、子供さんに升も一緒に渡せた事で気持ち良く我が家に戻りました。節分会を思い浮かべながら記念品の御礼を申し上げます。有り難うございました。

八王子市 川幡 俊一

山報高幡不動尊、毎回講読させていただき、浄福寺住職廣澤隆之先生のお寺での出来事、お寺の在り方、供養のこと、他にも仏教による教え、仏様の心等々、私自身心に深く感銘をうけております。先生のお話の中には、なる

「高幡不動」林家 二楽
お寺の在り方、供養のこと、他にも仏教による教え、仏様の心等々、私自身心に深く感銘をうけております。先生のお話の中には、なる

を振り返り、雨の日、又嵐、晴天と人生を歩んで現在、主人も私も八十五歳という年齢になりました。

節分会当日は、主人は都合で参加出来ず、急に私と替り初めての節分会に参加させて頂きました。参道は老若男女の方々と溢れて、今か今かと豆撒きを待っている姿は感無量でした。帰りは参道の方々

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時～午後五時
午後四時半までにお申込下さい。

○ご祈願料 金三千円也

御護摩修行

○平日 八時・十時・十一時半・一時・三時

○土曜・日曜・祝日

八時・十時・十一時半・一時・二時半・四時

○但し一日、十五日の午前中は五時・十時・十一時半

○ご縁日(二十八日)

五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時

○御護摩料

金参千円也
金五千円也
金壹万円也

(大護摩) 金参万円以上
ご縁日 毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市)
毎月第二日曜日(雨天中止)
ござれ市(がらくた市)

毎月第三日曜日(雨天決行)
お焚き上げ

毎月十五日午前九時
月例写経会

毎月二十一日午後一時半
千体地藏尊月例法要

毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館)

午前九時～午後四時
拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観
午前九時～午後四時

参拝料 二〇〇円
(月曜休館)

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

近年 頃に花の開花時期が早まってきたように感じられます。紫陽花も先月中旬より山あじさいから咲き始めてきています。温暖化の影響でしょうか。

俳句大会 短歌大会も例年通り行われますので奮ってご参加下さい。

さて 今年のアじさいまつりのポスターには三十四種類のあじさいが写っています。境内で探してみたいかがでしょうか。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別 格 本 山
高 幡 山 金 剛 寺

電話 (042) 591-0032(代)
FAX (042) 593-3038

発行人 黒川 高德

年4回発行・再生紙使用

高幡不動尊境内略地図

山内八十八ヶ所とあじさいマップ

可憐な山あじさい (6月上旬、中旬)
あじさい、かくあじさい (6月中旬～7月上旬)
彼岸花 (9月中旬、下旬)

山内八十八ヶ所巡拝路
四季のみち
あじさいのみち

● 不動堂……毎日護摩修行・新文六不動三尊参拝
(どなたでもご参加頂けます)

● 奥 殿……日本一の不動三尊(重文)・大日如来像(平安時代中期)
ほか指定文化財・新選組資料・寺宝多数展示

(当山職員による案内説明・午後1時40分から)

● 大日堂……唱り龍・櫻絵(桂林明陽夕粧)・新選組位牌等多数展示
● 五重塔……無料休憩所・千体地藏堂参拝・釈迦三尊像参拝
● 茶 室……薄茶接待 6月22日までの水曜・木曜・金曜・
6月9日～24日の土曜・日曜 (11時～4時) 及び6月28日

6月9日～24日の土曜・日曜 (11時～4時)

御護摩修行
○ 平日 8:00・10:00
11:30・1:00・3:00
○ 土曜/日曜/祝日
8:00・10:00・11:30
1:00・2:30・4:00
○ 但し1日、15日の午前中は
5:00・10:00・11:30
○ ご縁日 (28日)
5:00・9:00・10:00・11:00
12:00・1:00・2:30・4:00
交通安全折願
午前9:00～午後5:00
午後4:30までにお申し込み下さい。
月例写経会
毎月21日 午後1:30
千体地藏尊月例法要
毎月24日 午後2:00

フリーマーケット (リサイクル市)
毎月第2日曜日 (8月はお休み)
ござれ市 (からくた市)
毎月第3日曜日

別格本山
高幡山 金剛寺
〒191-0031 東京都日野市高幡733

電話 (042) 591-0032(代)
FAX (042) 593-3038

